

平成20年度 事業評価書

地域名	山口県周南市	選定年度	H16年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	周南市温暖化対策地域協議会				
モデル事業名	周南市地球温暖化防止まちづくりモデル事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H16年度	環境教育・普及啓発事業として、小中学生向けの環境学習プログラム及び環境学習ゲームの検討調査を実施。また、普及啓発用リーフレットを作成。
		H17年度	環境教育・普及啓発事業として、小中学生向け環境学習プログラム及び環境学習ゲーム等を作成。また、セミナーや小学校での環境モデル事業を実施。
		H18年度	普及啓発事業として、17年度に作成した環境学習ゲームの改訂を実施。また、地球温暖化の取組をPRするためのビデオ番組を作成。
	事業完了後	H19年度	事業完了後であり、事業は実施していない。尚、協議会活動として、地球温暖化対策を市民や事業者に広く周知、啓発をすることを目的とした「エアコンによる省エネ・省コストの実際」説明会を実施したほか、環境学習推進部会の活動として、エコすごろくの改訂、解説書の作成および「環境保全啓発」ポスター等の募集を実施。
		H20年度	事業完了後であり、事業は実施していない。尚、協議会活動として、地球温暖化対策を市民や事業者に広く周知、啓発をすることを目的とした地球温暖化防止キックオフイベントや「環境とエネルギー問題」に関する講演会を実施したほか、市民参加事業として「エコチャレンジ～市民節電所」事業及び「エコチャレンジ大賞」の選定を実施。さらに、地域協議会の温暖化対策事業の取組みについて地元ケーブルテレビで作製・放映したほか、環境学習推進部会の活動として、平成19年度に改訂したエコすごろくを活用した出前講座を実施。その他、子供向け事業を企画。
交付金事業	事業期間	H16年度	太陽光発電等整備費補助事業として、一般家庭、公共施設等に太陽光発電設備を設置した。 県産温暖化防止製品導入補助事業として、太陽光発電式LED街灯、一般家庭への断熱工法、木質温水床暖房、窓ガラスへ紫外線・熱戦カットコーティング剤、太陽光発電利用白色LED照明、地下設置式バイオガスプラントを設置。
		H17年度	木質バイオマス混焼設備導入事業として、石炭火力発電施設への木質バイオマス混焼設備を導入した。また、県産温暖化防止製品導入補助事業として、一般家庭への断熱工法を導入。
		H18年度	水素タウンモデル事業として、工場の余剰水素を利用した家庭用水素供給燃料電池コージェネレーションシステムを導入。
	事業完了後	H19年度	事業完了後であり、事業は実施していない。
		H20年度	事業完了後であり、事業は実施していない。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>多結晶シリコン生産量日本一といった地域性からハード事業として、太陽光発電設備の導入を行っているが、単に設備設置だけではなく、導入設備を活用した普及啓発を行うなど、地域内への更なる展開に努めてほしい。</p> <p>省エネ設備は住み手の意識によりその効果が大きく差が出るものであり、今回の交付金事業と委託事業を連動させて、より効果を高めるような積極性が必要。</p> <p>石炭火力発電施設への木質バイオマス混焼設備の導入や水素タウンモデル事業は、市の産業として特色がある。特に、森林国家である日本において、木質の利用はモデル性があり期待する。</p>
-------------	--

地域名	山口県周南市	選定年度	H16年度	事業規模	大規模事業
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果		備考		
	目標値	10,656.5	H16年度、H17年度、H18年度事業分		
	実績値	5,782.1	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH20年度稼働実績		
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)				
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	<p>・県産温暖化防止製品導入補助事業① 太陽光発電式LED街灯導入 消費電力の少ないLEDを利用し、かつ太陽光発電を用いているため、高い省エネルギー効果が期待できるが、削減目標を達成できていない。また、電力量計を設置せず、LED街灯の消費電力量(定格消費電力×点灯時間)を測定し、発電量と見なしているため、削減量の算出値が前年度と全く同様であるが、今後、削減目標の達成に向けた対策を講じる際等、取組みが数値に反映される必要があるため、測定方法の改善が必要である。</p>				
	<p>・県産温暖化防止製品導入補助事業② セルロスファイバーを利用した断熱 昨年度以上の効果が得られているが、断熱材施工建物は全て新築または増築であるため、施工前後の年間エネルギー消費量の差を正確に求めることが難しく、算定法についての再検討が必要である。</p>				
	<p>・県産温暖化防止製品導入補助事業③ GSパネル使用の外断熱工法 複合断熱パネルを建築物のコンクリート躯体の外側に施工する断熱工法を、既存建物に導入したため、設備導入前後の単純比較が可能となっている。一定の削減効果は出ているが、データが揃っておらず、事業全体の評価は出来ない。</p>				
	<p>・県産温暖化防止製品導入補助事業④ 木質温水床暖房 既存の木造戸建住宅の一部に、間伐材を利用した床暖房を施工する試みであり、石油ストーブ使用の削減と同時に、間伐材を利用することによって吸収源対策ともなっている。温水床暖房のために都市ガスを用いているため、ガスの使用量は増加しているものの、CO2削減目標は達成できており、評価できる。</p>				
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	<p>・県産温暖化防止製品導入補助事業⑤ 紫外線・熱線カットコーティング剤 夏季の冷房効果をあげることを目的とし、ガラスに紫外線・熱線カットコーティング剤を塗布する事業である。遮熱効果は得られているとしても、施工物件の半数が店舗、事務所であったことから、温度設定を上げる等対策がとられにくく、削減目標値に達しなかった。当初設定した目標値が結果的に過大であったと考察しているが、普及啓発面のアプローチから、少しでも削減ができるよう努力されたい。</p>				
	<p>・県産温暖化防止製品導入補助事業⑥ 太陽光発電利用の白色LED照明 太陽光発電とLED照明を組み合わせることにより、CO2削減効果を上げている。設置施設が24時間、365日稼働していることから、LED照明による省電力効果が最大限発揮されており、達成目標を上回っている。</p>				
	<p>・県産温暖化防止製品導入補助事業⑦ 地下設置式バイオガスプラント この施設は、メタン発酵槽を設置し、豚糞尿・生ごみを投入、発酵させ、発生したバイオガスにより発電すると同時に、高温の排ガス熱を暖房等施設に利用することで、施設のランニングコストを削減する。本年度は、年度当初、十分な発酵ができなかったためガスが十分に発生せず、発電量が少なくなった。次年度からは、年度当初から十分なガスの発生を見込むことができる。</p>				
	<p>・木質バイオマス混焼設備導入事業 全国的に木質バイオマスが不足ぎみであったため、CO2削減目標を大きく下回る結果を出してきたが、昨年度、今年度と徐々に木質バイオマスの確保並びに利用量の増加が見られており、当初の目標の50%を超えることができている。 引続き、木質バイオマスの確保と利用促進を図り、目標を達成するよう努められたい。</p>				
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	<p>・太陽光発電等整備費補助事業 太陽光発電等整備費補助事業について、概ね目標通りの削減効果が得られている。引続き、削減効果向上に努めるとともに、住民への啓発指導等も検討されたい。</p>				
	<p>・目標を大幅に下回ったままであり、家庭に的を絞った普及等を、これから独自に立ち上げていくよう期待する。また、同じ設備でも運用する人、暮らす人のライフスタイルで大きく違ってくることを想定し、推進内容の再構築を図る必要がある。</p>				

地 域 名	山口県周南市	選定年度	H16年度	事業規模	大規模事業
		<p>・水素タウンモデル事業 2台中1台については、削減量目標の達成度が前年より向上している。一方で、もう1台については故障のため休止している。早急に故障原因を究明し、運転再開を行う必要がある。</p>			
③経済活性化効果	現状を基にした新しい新たな検討をされるよう期待する。				
④その他	<p>・協議会は動いているが、その効果を見る化する努力をすると、市民のライフスタイル見直しや事業者の取組が一層進むと考える。</p>				